

大阪天満宮文化研究所所長
高島幸次〔著〕

大阪天満宮と

天神祭

2024年
6月10日
発売

天神祭はなぜ

日本三大祭のひとつになったのか

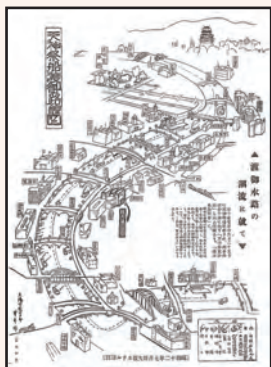
大阪天満宮が創祀される約二五〇年前、同地で祀られた大將軍神は星辰信仰で、「天満」は満天の無数の星を意味していた。また銚流神事はケガレを海に流すために始まったなど、大阪天満宮と天神祭の知られざる歴史を紹介。



定価2,200円(本体2,000円)⑩/四六/並製/228頁

目次

- 第一部 大阪天満宮と天神祭
- 第一章 大阪天満宮の創祀
- 1 大將軍社の創祀
- 大阪天満宮前史—
- 2 天神信仰の成立
- 3 大阪天満宮の創祀伝承
- 4 「天満天神祠」付近の景観
- 5 正暦五年の御霊会と銚流神事・天神祭
- コラム① 天神と三天鬼退治
- 第二章 大阪天満宮の発展と天神祭
- 1 大阪天満宮と連歌
- 2 大坂本願寺との交流
- 3 豊臣政権下の天満本願寺
- コラム② 大村田己と出雲阿国
- 第三章 「祭日」の再検証
- 1 「六月」と「二十五日」の検証
- 2 大將軍社の祭日と天満三池
- コラム③ お尻まくり流行った
- 第四章 江戸時代の大坂天満宮と天神祭
- 1 大坂の陣と吹田遷座
- 2 天満への還座と境内の復興
- 3 大坂町奉行による地車の規制
- 4 銚流神事の中止と御旅所の常設
- 5 御迎え船と御迎え人形の登場
- 6 江戸前期の天神祭見物
- 7 「妙知焼け」と「講」の結成
- 8 錦絵や地誌に見る天神祭
- 9 江戸後期の天神祭の見物
- 幕末維新期の天神祭
- 近代における天神祭の変革
- 本来伝統と疑似伝統
- 12
- 11
- 10



▲昭和12年「天神祭船渡御路線図」大阪ホテル作成(大阪天満宮社報64号より)

- 第二部 天神祭のおもてなし
- 第一章 〈マツリ〉とは何か?
- 1 三種類の〈マツリ〉
- 2 夏祭と秋祭
- 3 日本三大祭と〈マツリ〉の三重構造
- 第二章 おもてなしの仕掛け
- 1 御迎え人形の場合
- 2 お祭り提灯の場合
- 3 造り物の場合
- 4 おもてなしの伝統
- おわりに



著者略歴

高島幸次(たかしま こうじ)

1949年大阪市生。龍谷大学大学院文学研究科修了。龍谷大学エクステンションセンター顧問。大阪天満宮文化研究所所長。専門は日本近世史・天神信仰史。夙川学院短期大学教授、本願寺史料研究所委託研究員、追手門学院大学客員教授、大阪大学招聘教授などを歴任。主な著書に「大阪の神さん仏さん(釈徹宗と共著、140B)」、「奇想天外だから史実——天神伝承を読み解く」(大阪大学出版会、「日本人にとって聖地とはなにか」(内田樹・釈徹宗・茂木健一郎・植島啓司と共著、東京書籍)、「上方落語史観」(140B)、「古典落語の史層を掘る」(和泉書院)など。

創元社

〒541-0047大阪市中央区淡路町4-3-6 TEL 06-6231-9010

FAX 06-6233-3111

https://www.sogensha.co.jp/

【東京支店】〒101-0051東京都千代田区神田神保町1-2 田辺ビル TEL 03-6811-0662

大阪天満宮と天神祭

ISBN978-4-422-25092-2 C0039

高島幸次〔著〕

定価2,200円(本体2,000円)⑩

取り扱い店名

冊

住所

〒 ()
Tel ()
フリガナ

お名前

◆ 創元社WEBサイト ◆
https://www.sogensha.co.jp/

